

令和5年度 第4回

交野市水道事業経営審議会

議事要旨

令和5年8月28日開催

交野市水道事業経営審議会（第4回） 議事要旨

開催日時	令和5年8月28日（月）15：30～
開催場所	交野市水道局 会議室
出席委員	後藤会長、畑山副会長、覚道委員、森本委員、山崎委員、竹内委員、代永委員、市岡委員
傍聴者	なし
次第	1. 開会 2. 議事 水道料金体系について 3. その他 4. 閉会
資料	資料1 第4回交野市水道事業経営審議会資料 資料2 料金比較表
所管	交野市水道局 総務課

議事概要

1. 開会

事務局より、開会の挨拶

2. 議事

事務局より、資料1・2について内容を説明

— 以下、意見・質疑応答 —

【水道料金体系について】

委員

前回の審議会では、財政計画全般を踏まえ、経営健全化の議論をしたうえで料金体系を検討しました。

今回は前回は踏襲することで、料金改定率、料金体系に特化して検討しました。

そのため、今回から参加された委員は分かりにくかったかもしれません。

現在の社会情勢を鑑みると、改定はパターン3が一番いいと思います。水を大量に使う企業、いわゆる水を使うことを生業とする者などの大口利用者に少し高めの負担をお願いして、水を必需品とする者のボリュームゾーン（市民利用者で一番多く使われている料金体系帯）以下に還元する体系がよいと思います。

会長

大口利用者はこういった利用者なのか、具体的に分かればもっとイメージしやすいのではないか。

事務局

資料にある75mm口径で、月に2,000m³使用されるような利用者は実際には多くありません。3件しかなく、その中には市に関連する施設も含まれています。

40mm口径の月に1,000m³使用でも5件です。

その他、市の施設などが該当します。

会長

大口の利用者は、市の施設等であって、工場はあまりないということか。

事務局

イメージとして資料に工場を示していますが、本市の現況は今申し上げたとおりです。

パターン3は大口利用者に負担をかけると言いますが、平均約16%のところ

18%で、過剰なものではないと考えます。

本市の現状の逡増度は他市より低く、大口利用者ほど大阪府下でのランキングが安くなっており、これを平均的なレベルに収めたものがパターン3です。

委員

資料の大阪府下のランキングを見ると大口利用者は確かに安い。

大口利用者の負担を増やすことで、学校などの負担が増すのは違和感がありますが、これまでが安かったと言えます。

現状の料金体系は20年以上前のものであるもので、そこから社会情勢が大きく変わっていることを説明すれば理解がいただけるのではないのでしょうか。

委員

先ほどの委員がパターン3を選ばれたことに全く同感です。

これから議会、市民に説明する必要がありますが、最も説明しやすい体系だと思えます。

委員

事業経営においては安定的に収入を得られる体系がよいと思えますので、広く浅く家庭からいただくとなればパターン4がよいと思えます。

委員

大口利用者として市等の施設に少し高めに料金負担をしてもらいます。ずっと恒久的にその体系ではなく、3年ごとに料金体系の検討を行いますので、今の社会情勢を見るとパターン3ではないのでしょうか。市民に説明が付きやすいと思えます。

委員

私もパターン3がよいと思えます。とにかく市民に分かりやすい説明に努めてほしいです。

委員

私は当初パターン1の一律16%改定が市民にとって分かりやすいと思いましたが、今回の説明を受け、パターン3がよいと思いました。

一番市民が使用しているゾーンである、ボリュームゾーンが負担するよりはいいと思えます。

委員

パターン3か4のどちらかで決めかねています。

また、水道事業は水を使ってもらわないと収入が増えませんが、今回の改定率程度で安定した経営を維持できるのでしょうか。

事務局

平均で16%上げると、全てのパターンのシミュレーションで収入的には大丈夫だという判断です。

16%の改定率をどう割り振るかがパターンの違いで、どのパターンも今までの水量を使ってもらえれば収入的には大丈夫です。

ただ、料金改定を行うと節水意識が働くので、その影響が小さくなるよう基本料金の改定率を高めを設定しています。それはどのパターンも同じです。

副会長

前回の答申が令和3年中にあり、そこから令和4年の市長選挙までどうなっていたのか。

時間経過により、改定率が13%から今回の16%と3%の違いが出た。

再度の審議が求められたが、どのパターンを選ぼうと、市民には簡単に理解はされない。

前回の答申からの間、市民に理解していただくような作業はしていたのか。

どちらにせよ、そんな状況で一番理解を得やすいのはどれかと考えるとパターン3しかない。パターン4が一番市民が使用しているゾーンであるボリュームゾーンに理解を得ないといけないので大変である。

会長

料金改定はいつからになるか。

事務局

シミュレーション結果から考えますと、料金改定としてはできるだけ早くと考えています。

具体的には令和6年4月が最短で間に合うタイミングではないかと考えています。

委員

水道事業は応分の負担で成り立つもので、供給単価と給水原価の逆転は赤字を生むので、早急な改定が必要であると考えます。

今回の改定による体系は恒久的なものではなく、3年後に料金改定の検討を行う

ことを見込んで考えるとパターン3が説明しやすいと思います。

社会情勢が変われば3年後に検討すればよい。資料の影響額を見てもバランスがいいのはパターン3だと思います。

副会長

前回の答申が出て、1年経つ間に、議会には何らかの動きはされたのか。何もなくて市長選を迎えたのか。

事務局

前回の答申後、水道局、市の会議で検証を進めていましたが、市としての答え及び、料金改定実施の決定が出る前に市長選を迎えました。

市の決定はされていませんでしたので、新市長により、料金改定は凍結されました。

現状、市長は凍結解除を考えています。

今後15年間で、40億円の事業に対して3分の1が国庫補助対象となることで、将来的には市民に還元されます。

しかし、対象事業はもう始まっており、毎年のトータルとしての補助金額が削られています。

少しでも多い補助金確保のためにも、出来るだけ早く料金改定を実施したいと考えています。

副会長

9月に市議会議員選挙があり、新しい議員を含めた議会に説明することになるが、料金値上げの審議は歓迎されるものでない。

理解を得るために、如何にいい答申を作り上げるかが重要である。

事務局

新しい市議会議員にも説明できるように資料を作成いたします。

会長

パターン4がよいという意見もあったがいかがでしょうか。

委員

議論を聞いて、パターン3でよいと思います。

会長

様々なご意見、ご質問等ございました。

これらを踏まえまして、今回の審議会のテーマである料金体系について、審議会として決定したいと思います。

事務局からいくつかの改定パターンが示されましたが、委員皆さまのご発言ではパターン3が望ましいとされています。

パターン3の料金体系に決定してよろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

会長

それでは、審議会として、パターン3を採用する事とします。

今回は審議会から市長への答申について審議する事としまして、本日の議事はこれまでといたします。

3. その他

事務局より、今後の審議会のスケジュールについて説明。

会長より一言

水道事業経営の現状は厳しく、料金値上げをしないと持続は難しいです。

しかし、今の社会情勢をみる中で食料品や電気・ガソリン代など色々と値上りしており、やはり市民生活は苦しいと思います。

そこで、水道局ではなく市の方で、水道料金値上げに対する市民生活への負担軽減策などを講じることはできませんか。

また、答申の中で、そのようなことを触れたいと思いますが、事務局の方は大丈夫ですか。

事務局

はい。市長におかれましては、物価高騰の中、公約通り現在も料金値上げ凍結を継続中です。

水道料金の値上げを実施し、基幹管路の更新で国庫補助金を受け取ることが可能になれば、将来的には交野市民皆さまの負担軽減に繋がることと考えておるところでございます。

市といたしましても、会長がおっしゃいました激変緩和措置を講じる必要があると考えてございます。

この審議会からの答申の中で、可能であれば付帯意見として水道料金値上げに対する激変緩和対策についての提言をいただけましたらと考えてございます。

よろしくご配慮お願いいたします。

会長

委員の皆様、答申案の中で今申しましたことも触れさせていただきたいと思いますがいかがですか。

委員一同

異議なし。

4. 閉会

以上